

2月4日(火)

## 令和7年度 A日程入学試験問題

# 選 択 科 目 ①

## ( 日 本 史 ・ 世 界 史 )

### — 注意事項 —

- 1 問題ページは以下のとおり。解答用紙はいずれの科目も1枚である。

|             |           |
|-------------|-----------|
| 日本史（歴史総合含む） | 1～13 ページ  |
| 世界史（歴史総合含む） | 14～29 ページ |

- 2 選択した科目は、解答用紙の科目名欄へ指示にしたがって記入し、選択欄を必ずマークすること。
- 3 解答は、解答用紙の解答マーク欄へ問題の指示にしたがってマークすること。  
解答用紙は2科目共通であるから、科目によってはマークしなくてもよい解答マーク欄がある。
- 4 日本史・世界史ともに、大問5は「歴史総合」となる。大問5の解答欄は裏面にあるので解答忘れに注意すること。
- 5 試験時間は60分である。

## 日本史

1 この問題は、解答欄 1 ～ 8 に解答すること。

次の史料 A・B を読んで、後の問いに答えなさい。(23点)

A 日本国天平五年歳次癸酉、沙門栄叡・普照ら、(1)遣唐大使<sup>たじひの まひとひろなり</sup>丹墀真人広成に随ひて唐国に至りて留学す。(中略)唐の天宝元載冬十月、時に(2)大和尚<sup>ようしゅう</sup>楊州大明寺に在り、衆のために律を講ず。栄叡・普照大明寺に至り、大和尚の足下<sup>そっか</sup>を頂<sup>ちやうらい</sup>礼して、具<sup>つぶさ</sup>に本意を述べて曰く、「仏法東流して日本国に至る。(3)その法ありと雖も、伝法の人なし」と。(中略)大和尚曰く、「是<sup>こ</sup>れ法事の為なり。何<sup>いずくん</sup>ぞ身命を惜しまむ。諸人<sup>しよ</sup>去かざれば、我れ即ち去くのみ」と。(中略)其<sup>そ</sup>の年四月、初めて盧遮那殿の前に於て(4)戒壇を立つ。天皇初めて壇に登り、菩薩戒<sup>ぼさつかい</sup>を受けたまふ。(下略)

(『唐大和上東征伝』、原漢文)

(注) 天平五年 — 733年。 沙門 — 僧侶。 天宝元載 — 742年。  
楊州 — 揚州、現在の中国江蘇省揚州市。 其の年 — 天平勝宝 6 (754) 年。

問1 下線部(1)に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エの中から1つ選び、解答欄 1 にマークしなさい。

- ア 小野妹子は答礼使裴世清をともなって倭に帰国した。
- イ 犬上御田歊は薬師恵日とともに唐に渡った。
- ウ 菅原道真は醍醐天皇に派遣の中止を要請した。
- エ 正月朝賀に参列して、皇帝から冊封を受けた。

問2 下線部(2)の人物に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エの中から1つ選び、解答欄 2 にマークしなさい。

- ア 丹墀真人広成に付き添われて来日した。
- イ 聖武天皇に東大寺の大仏造立を提案した。
- ウ 生前の姿を模した塑像が日本で制作された。
- エ 唐招提寺を創建して弟子の指導に努めた。

問3 下線部(3)の説明として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄

3 にマークしなさい。

- ア 律令は備わったが、官人に礼儀作法を教える者がいない。
- イ 律令は備わったが、律令制の知識を伝授する者がいない。
- ウ 仏教の儀式は備わったが、その作法を教える者がいない。
- エ 仏教は伝来したが、僧侶に規律を授ける者がいない。

問4 下線部(4)が設置された寺院の組み合わせの説明として最もふさわしいものを、次のア～

エの中から1つ選び、解答欄 4 にマークしなさい。

- ア 東大寺のほか、下野薬師寺・大和の法隆寺に設けられた。
- イ 東大寺のほか、大和の興福寺・筑紫観世音寺に設けられた。
- ウ 東大寺のほか、下野薬師寺・筑紫観世音寺に設けられた。
- エ 東大寺のほか、大和の法隆寺・興福寺に設けられた。

B 十一月<sup>しんぼう</sup>辛卯、平群朝臣<sup>へぐりのあそん ひろなり</sup>広成、朝を拝す。初め広成、天平五年大使<sup>たじひ</sup>多治比真人<sup>たじひ</sup>広成に随ひて入唐す。六年十月、事畢はりて却帰するに、四船同じく発ちて、蘇州より海<sup>い</sup>に入る。悪風<sup>たちま</sup>忽ち<sup>たちま</sup>に起りて、彼此<sup>ひし</sup>相失ふ。広成の船一百一十五人、崑崙<sup>こんろん</sup>国に漂着す。賊兵ありて来りて囲み、遂に拘執せらる。船人、或は殺され、或は逃散す。自余の九十余<sup>やまい</sup>人、瘴<sup>やまい</sup>に<sup>わづ</sup>着かれて死亡す。広成ら四人、僅かに死を免れて、崑崙王に見ゆることを得。(中略)七年に至り、唐国欽州の熟崑崙ありて彼に到る。便ち<sup>ひそ</sup>儉かに載せられて、出で来りて既に唐国に帰る。本朝<sup>がくしょう</sup>の学生<sup>がくしょう</sup> 5 に逢ひて、便ち奏して入朝することを得、渤海の路を取りて帰朝せむことを請ふ。天子これを許し、船糧を給ひて発遣せしむ。十年三月、登州より海に入る。五月、(6)渤海<sup>さかい</sup>の界<sup>さかい</sup>に到る。適<sup>たまたま</sup>その王大欽茂、使を差<sup>つか</sup>はして、我が朝<sup>とぶら</sup>に聘<sup>とぶら</sup>はむと欲するに遇ふ。即ち時同じくして発つ。沸海を渡るに及びて渤海の一船浪<sup>かたぶ</sup>に遇ひ<sup>くつがえ</sup>傾<sup>くつがえ</sup>き覆<sup>しよようとく</sup>りぬ。大使胥要徳ら四十人没死す。広成等、遺れる衆<sup>のこ</sup>を率ゐて(7)出羽国に到り着く。

(『続日本紀』天平11年11月辛卯条、原漢文)

(注) 蘇州 — 現在の中国江蘇省蘇州市。

崑崙国 — インドシナ半島東南部にあったとされる国。 瘴 — 熱病。

欽州 — 現在の中国広西省欽州。 熟崑崙 — 唐の文化になじんでいる崑崙人。

入朝 — 長安に行くこと。 登州 — 現在の中国山東省蓬萊市付近。

問5 空欄  にあてはまる人名として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から1つを選び、解答欄  にマークしなさい。

ア 橘逸勢      イ 山上憶良      ウ 高向玄理      エ 藤原広嗣      オ 阿倍仲麻呂

問6 下線部（6）に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ア 6世紀半ばに滅ぼされた大加耶国の遺民により建国された。
- イ 唐との対立を背景に、8世紀前半に日本へ外交使節を遣わした。
- ウ 来日した外交使節は、毛皮・人参・絹・綿などをもたらした。
- エ 10世紀前半に勢力を伸ばした高麗の侵攻により滅ぼされた。

問7 平群広成らが下線部（7）に至り、日本に帰国するまでの経路として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ア 崑崙国—欽州—長安—登州—渤海—出羽
- イ 崑崙国—蘇州—欽州—長安—渤海—出羽
- ウ 崑崙国—登州—欽州—長安—渤海—出羽
- エ 崑崙国—長安—欽州—登州—渤海—出羽

問8 史料Bの内容に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ア 平群広成は天平5年に遣唐大使として中国に渡航した。
- イ 平群広成らの船の船員の大半は病によって死亡した。
- ウ 平群広成は日本を出航してから4年ぶりに帰国をはたした。
- エ 平群広成に同行した胥要徳らの一行は、誰も来日できなかった。

**2** この問題は、解答欄 **21** ～ **28** に解答すること。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(23点)

白河天皇の時代、京都に高層建築物が建てられた。高さが約80メートルに及んだとされる **a** である。この建築物のある寺院は天皇自身が創建し、続く天皇や皇族も、付近に御願寺をつくった。こうした造営は、(24) 院政期における天皇家と仏教との深いかわりによるものといえる。

院政期は、民間の布教者によって広まった浄土教の思想を、地方豪族が受け入れたことにより、地方に阿弥陀堂がつくられた時代でもある。 **b** や、中尊寺金色堂がその代表例である。

(25) 鎌倉時代の寺院建築には、宋の影響を受けた様式が用いられた。(26) 東大寺の復興時の建築に採用され、豪放で力強いと評される大仏様や、整然とした美しさがあるといわれるとされる (27) 禅宗様がそれにあたる。一方で、やわらかな美しさをもつといわれる和様も受け継がれたが、これに大仏様や禅宗様の技法を取り入れた折衷様も生まれた。

南北朝の合体直後には、住宅風の様式と禅宗様を折衷した **c** がつくられ、(28) 戦国時代にもこれにならった建物がつくられた。

問1 空欄 **a** ・ **b** ・ **c** にあてはまる語句として最もふさわしいものを、次の ア～コの中からそれぞれ1つ選び、**a** を解答欄 **21** に、**b** を解答欄 **22** に、**c** を解答欄 **23** にマークしなさい。

- |          |          |         |           |
|----------|----------|---------|-----------|
| ア 円覚寺舍利殿 | イ 室生寺金堂  | ウ 鹿苑寺金閣 | エ 法勝寺九重塔  |
| オ 興福寺東金堂 | カ 富貴寺大堂  | キ 大徳寺唐門 | ク 法界寺阿弥陀堂 |
| ケ 醍醐寺五重塔 | コ 慈照寺東求堂 |         |           |

問2 下線部 (24) に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エの中から1つ選び、解答欄 **24** にマークしなさい。

- ア 後白河天皇は、厚く仏教を信仰し、在位したまま出家し法皇となった。
- イ 鳥羽天皇は、宇治や伏見に離宮を造営し、寺院を付設した。
- ウ 白河上皇は、出家した信西を近臣として法会をおこなわせた。
- エ 白河上皇は、しばしば熊野詣や高野詣を繰り返した。

問3 下線部(25)の仏教に関する説明として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 25 にマークしなさい。

- ア 栄西は、南宋にわたった後、永平寺で只管打坐を説いた。
- イ 法然は悪人正機を説いたが、非難を受けて越後に流された。
- ウ 一遍は、諸国を遊行しながら、踊念仏を通じて教えを広めた。
- エ 叡尊は、病人の救済施設北山十八間戸を建てた。

問4 下線部(26)に関する説明として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 26 にマークしなさい。

- ア 勧進上人の重源は、貴族や武士以外を対象にして復興のための寄付を勧めた。
- イ 復興の際、宋人の陳和卿は、大仏鑄造と大仏殿再建に参加した。
- ウ 南大門には、復興時につくられた石造の金剛力士像が安置されている。
- エ 仏師の運慶は、この寺院の彫刻制作だけに専念した。

問5 下線部(27)の代表的な建築物と特色に関する説明の組み合わせとして最もふさわしいものを、次のア～カの中から1つ選び、解答欄 27 にマークしなさい。

〔代表的な建築物〕

①



②



③



提供：妙法院

〔特色に関する説明〕

- X やわらかな美しさをもつとされる。
- Y 梁や貫などの構造材を装飾としている。
- Z 軒裏の垂木を扇垂木という形式で配置している。

- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| ア ①－X | イ ②－X | ウ ②－Y |
| エ ③－Y | オ ①－Z | カ ③－Z |

問6 下線部(28)の文化に関する説明として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 28 にマークしなさい。

ア 狩野正信・元信が、水墨画に伝統的な大和絵の手法を取り入れ、狩野派をおこした。

イ 宗祇が俳諧連歌を確立し、『新撰菟玖波集』を撰し、『水無瀬三吟百韻』をよんだ。

ウ 村田珠光が創案した茶寄合は各地に広まり、茶道の基礎となった。

エ 琉球から伝来した琵琶を、浄瑠璃に組み合わせた人形浄瑠璃が生まれた。

**3** この問題は、解答欄 **41** ～ **48** に解答すること。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(23点)

江戸時代の武家には序列があり、(41) 徳川将軍家が頂点である。その下には (42) 三家・(43) 三卿など将軍家に近しい親類の家がならぶ。さらに下には (44) 加賀前田家があり、その下位には (45) 彦根井伊家などが続いた。

これらの武家は (46) 伊豆守のような官途名を名乗るのが一般的であったが、(47) 旗本たちも幕府の然るべき役職に就任すると官途名を名乗った。これにも (48) 朝廷の許しを得た。

問1 下線部(41)に関する説明として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 **41** にマークしなさい。

- ア 初代将軍家康は、大坂夏の陣の翌年に死去し、久能山に葬られた。
- イ 5代将軍綱吉は、生類憐みの令を発令し、大名の人質(証人)を廃止した。
- ウ 10代将軍家斉は、田沼意知を登用したが、意知は暗殺されてしまった。
- エ 14代将軍家茂は、第二次長州征討の敗戦によって、江戸に逃げ帰った。

問2 下線部(42)に関して、三家の一つ水戸徳川家の徳川光圀についての説明として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 **42** にマークしなさい。

- ア 熊沢蕃山を登用して、儒教主義による藩政改革を実施した。
- イ 藩校時習館をおこして、文武を奨励した。
- ウ 大義名分論に基づく紀伝体の歴史書の編纂を開始した。
- エ 均田制を実施し、小作人に土地を与え、本百姓とした。

問3 下線部(43)に関する説明として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 **43** にマークしなさい。

- ア 三卿は徳川家重の三人の息子が家祖になっている。
- イ 国学者賀茂真淵は三卿の一人一橋宗尹に仕えたことがある。
- ウ 老中を務めた松平定信は三卿の一人田安宗武の子である。
- エ 徳川慶喜は三卿の一つ一橋家に生まれ、最後の将軍になった。



問4 下線部(44)に関して、木下順庵をまねき、古文書の整理なども行った好学の当主の名として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から1つ選び、解答欄 44 にマークしなさい。

ア 綱紀      イ 光政      ウ 正之      エ 重賢      オ 利家

問5 下線部(45)の幕末の当主に直弼がいるが、その説明として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄 45 にマークしなさい。

- ア 将軍継嗣問題では一橋派として活動した。
- イ 桜田門外の変で薩摩藩士などによって暗殺されている。
- ウ 安政の大獄の主導者で、吉村寅太郎や平野国臣を処刑した。
- エ 天皇の許しを得て、日米修好通商条約を調印した。

問6 下線部(46)に関して、伊豆守を名乗った大名には松平信綱がいるが、信綱に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄 46 にマークしなさい。

- ア 家光の近侍から大老にまで登り詰めた。
- イ 富士山大噴火後の処理に功績があった。
- ウ 幕府軍を指揮して島原の乱を鎮圧した。
- エ 川越藩主として三方領地替えに反対した。

問7 下線部(47)の身分が就任する役職に町奉行《江戸》があるが、その説明として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄 47 にマークしなさい。

- ア 若年寄・大目付とともに評定所の決議に参加した。
- イ 大岡忠相は山田奉行からこの役職に抜擢された。
- ウ 寺社奉行・日光奉行とともに三奉行を構成した。
- エ 南北両奉行が月番で、関八州外の訴状受理を扱った。

問8 下線部(48)に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄 48 にマークしなさい。

- ア 江戸時代には摂政・関白は廃止され、京都所司代に従属した。
- イ 光格天皇は皇位についていない父のために紫衣事件を起こした。
- ウ 徳川秀忠の娘が後水尾天皇の中宮になり、後桜町天皇を生んだ。
- エ 武家伝奏は公家から二名選ばれ、老中などと連携した。

**4** この問題は、解答欄 **61** ～ **68** に解答すること。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(23点)

第一次世界大戦期と、第二次世界大戦期とでは、日本の戦時経済は、大きく様相を異にした。第一次世界大戦は日本に未曾有の好景気をもたらした。(61) 八幡製鉄所の拡張や民間会社の設立があいつぎ、 (62) 重化学工業は工業生産額の30%を占めることとなった。 工業の躍進により (63) 工場労働者数は大戦前の1.5倍に増加して150万人をこえた。

戦間期の1933年から日中戦争2年目の1938年にかけて工業生産額は倍増し、金属・機械・化学工業をあわせた生産額は1933年に繊維工業を上まわり、1938年には工業生産額全体の過半を占め、(64) 産業構造が軽工業中心から重化学工業中心へと変化した。

第二次世界大戦期には、すでに日中戦争開始以来、(65) 日本が求める軍需産業用資材は円ブロック経済圏では足りず欧米およびその勢力圏からの輸入に依存していた。 日中戦争開始から3か月後に設置された **66** によって1938年度から物資動員計画が作成され、軍需品は優先的に生産され、また総力戦を想定した生産力拡充計画も作成されたが、当面する軍需生産に追われて実現にはほど遠かった。他方、(67) 国際関係は悪化し、 1941年12月、アメリカ・イギリスに宣戦布告、1945年8月、(68) ポツダム宣言を受諾して降伏する事態となった。

問1 下線部(61)に関する説明として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 **61** にマークしなさい。

- ア 設立から4年後の1901年、イギリスの技術を導入して操業を開始した。
- イ 国内産鉄鉱石不足のため漢冶萍公司の大冶鉄山から鉄鉱石を高価に入手した。
- ウ 政府の保護によらない純粹の民間製鉄会社の第1号として設立された。
- エ 日露戦争期の生産量では、国内の需要を満たすことはできなかった。

問2 下線部(62)に関する説明として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 **62** にマークしなさい。

- ア 南満洲鉄道株式会社によって満洲に漢冶萍公司が設立され西原借款に融資した。
- イ ドイツからの輸入に依存していた薬品・染料・肥料などの国産化が志向された。
- ウ 大規模な水力発電事業が展開され、猪苗代・大阪間の長距離送電が完成した。
- エ 電灯の都市部への普及や、工業原動力の蒸気力から電力への転換が推進された。

問3 下線部(63)に関する説明として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 63 にマークしなさい。

- ア 農村人口の都市部への流出により、工業人口は農業人口を大きく上まわった。
- イ 工業の躍進により工場生産額は大幅に増加したが、農業生産額を下まわった。
- ウ 重化学工業の発展により男性労働者の数が倍増し、女性労働者の数にせまった。
- エ 牧畜業など商業的農業の発展につれて農産物と工業製品との価格差が縮小した。

問4 下線部(64)に関する説明として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 64 にマークしなさい。

- ア 八幡製鉄所と財閥系製鉄会社とが合同して国策会社日本製鉄会社が発足した。
- イ 既成財閥は軍部と結び満洲・朝鮮へも進出し、重化学工業部門の増強を進めた。
- ウ 日産の鮎川義介は朝鮮の重化学工業を既成財閥にかわって独占支配した。
- エ 日窒の野口遵は満洲北部に大水力発電所と化学コンビナートを建設した。

問5 下線部(65)に関する説明として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 65 にマークしなさい。

- ア 大東亜共栄圏を建設し石炭・ゴム・ボーキサイトなどを得ようという主張が高まる。
- イ 援蒋ルートを遮断するため北進政策により事態を打開しようという主張が高まる。
- ウ 植民地を含む日本の領土や満洲および中国の占領地の中だけでは足りなかった。
- エ 第二次世界大戦開始後、国民の戦争協力を求める国民精神総動員運動を展開した。

問6 空欄 66 にあてはまる語句として最もふさわしいものを、次のア～オの中から1つ選び、解答欄 66 にマークしなさい。

- ア 軍需省      イ 経済企画庁      ウ 企画院      エ 資源局      オ 企画庁

問7 下線部(67)に関する説明として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 67 にマークしなさい。

- ア 1939年、アメリカは日独同盟の動きに対抗し日米修好通商条約の廃棄を通告した。
- イ 1940年、日米通商航海条約の失効により軍需資材の入手はきわめて困難になった。
- ウ 1940年、アメリカは自動車用ガソリンや屑鉄くずてつの対日輸出禁止の措置をとった。
- エ 1940年、アメリカは在米日本人の資産を凍結する措置をとった。

問 8 下線部 (68) に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から 1 つ選び、解答欄 68 にマークしなさい。

- ア 軍需以外の平和産業維持、将来貿易関係への参加を許可している。
- イ 日本人を民族として奴隷化するという意図をもって作成されている。
- ウ 連合国の占領軍が日本から撤収する条件は示されていない。
- エ 日本政府が日本国の無条件降伏を宣言するよう求めている。

**5** この問題は、解答欄 **81** ～ **85** に解答すること。

次の写真を見て、後の問いに答えなさい。(8点)



問1 上の写真は、1945年2月に開催された会談の参加者を撮影したものである。この会談の名称として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から1つ選び、解答欄 **81** にマークしなさい。

- |          |                 |         |
|----------|-----------------|---------|
| ア ポツダム会談 | イ ダンバートン・オークス会議 | ウ カイロ会談 |
| エ ヤルタ会談  | オ ミュンヘン会談       |         |

問2 この会談について述べた文として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄 **82** にマークしなさい。

- ア 独ソ不可侵条約の破棄に合意した。
- イ 国際連合の基本構想案に合意した。
- ウ 世界人権宣言を採択した。
- エ 大西洋憲章を発表した。

問3 この写真前列左端のAの人物が行った事項として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 83 にマークしなさい。

- ア 日本への原爆投下を命じた。
- イ 第二次世界大戦後の西ヨーロッパ統合を主導した。
- ウ 「封じ込め」政策としてマーシャル・プランを発表した。
- エ 「鉄のカーテン」演説を行った。

問4 この写真前列右端のBの人物が行った事項として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 84 にマークしなさい。

- ア ロシア十月革命を主導した。
- イ 一国社会主義論を唱えた。
- ウ 全権委任法によって権力を握った。
- エ 「ベルリンの壁」の建設を命じた。

問5 この写真の会談が行われた1945年2月より後に起きた、日本の状況について述べた文として最もふさわしいものを、次のア～オの中から1つ選び、解答欄 85 にマークしなさい。

- ア 国家総動員法が公布された。
- イ ミッドウェー海戦に敗北した。
- ウ 学徒出陣を開始した。
- エ 沖縄がアメリカ軍に占領された。
- オ 国際連盟を脱退した。